

2 歳出の状況

(1) これまでの状況

義務的経費のうち人件費では、年度によってばらつきはありますが、平成14年度からマイナス人勧の実施や定数の削減などにより、減少傾向にあります。

扶助費は、少子高齢化の進行に対する対策や、長引く景気低迷の影響を受けて生活保護費などが急増したことから、高い伸びを示しています。

公債費についても、市民文化会館等の建設時における起債の償還が開始されたことなどにより、平成13年度から大幅な増加を見せています。

補助費等や繰出金については、一部事務組合への補助、公共下水道の整備や国民健康保険事業会計の立て直し、さらに市立柏原病院の建て替え、JR柏原駅前再開発事業などに多額の費用が必要なことから増加を続けています。

投資的経費は、財源の伸び悩みや、經常経費が増加していることから、投資の効率化と重点配分に努めた結果、平成9年度をピークに減少傾向となっています。

(2) 平成16年度の状況

平成16年度普通会計歳出決算では、義務的経費のうち人件費については職員採用の抑制を図ることにより、職員給与費や退職手当など合わせて前年度に比べ約2億2千万円(4.5%)の減となりましたが、扶助費は長引く景気低迷の影響を受けて生活保護費などが増となり、扶助費全体では前年度に比べ約1億2千万円(2.9%)の増となりました。

投資的経費は、国分図書館の建設や柏原駅西口地区整備関連事業などの実施により、全体では前年度に比べ約3億4千万円(17.1%)の増となりました。

また、繰出金についても柏原駅西口地区市街地再開発事業をはじめ、公共下水道事業、老人保健事業、介護保険事業に対する繰出金が前年度に比べ約3億円(9.5%)の増となりました。

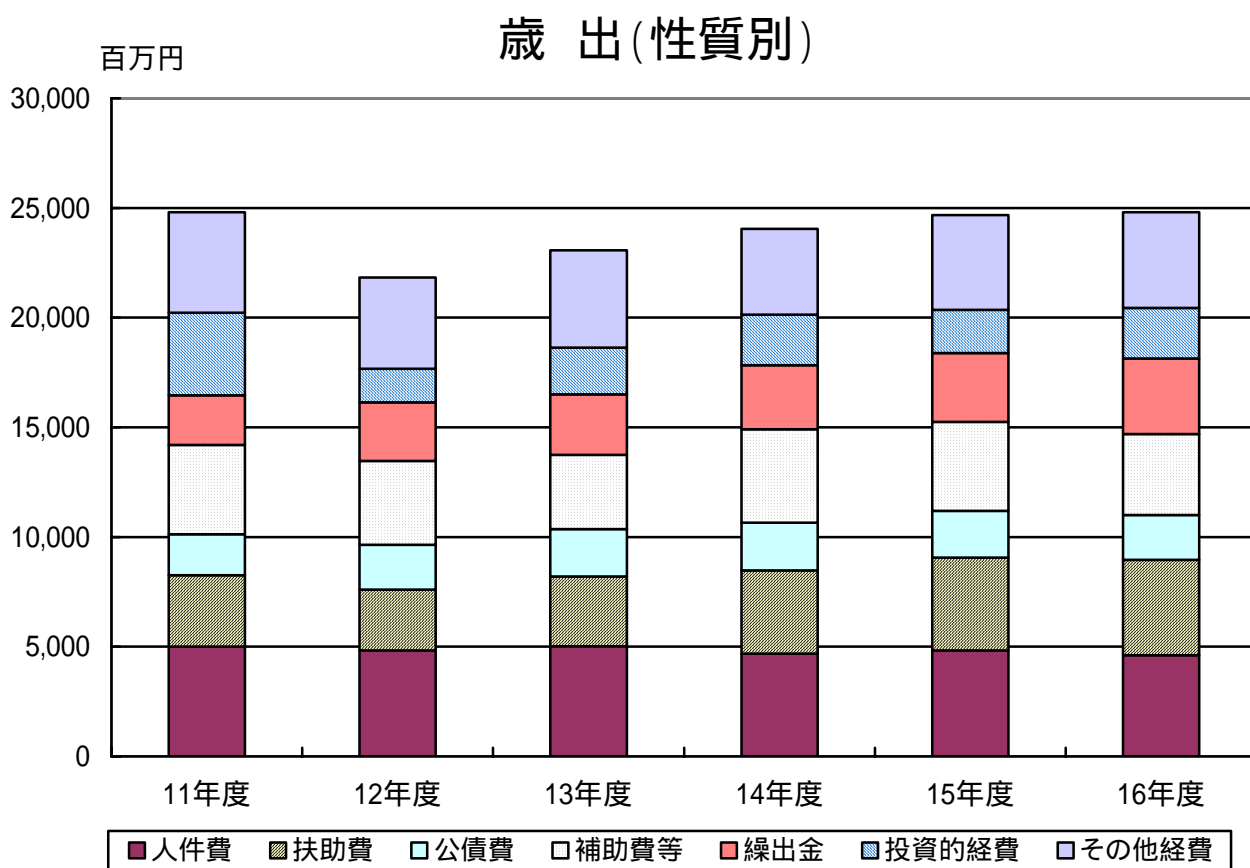
このようなことから、平成16年度の歳出決算全体では対前年度比0.6%の増となりました。

普通会計の推移

歳出（性質別）

（単位：百万円）

科目	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
義務的経費	10,123	9,650	10,363	10,651	11,191	11,009
人件費	5,008	4,832	5,014	4,684	4,825	4,607
扶助費	3,249	2,768	3,188	3,800	4,230	4,353
公債費	1,866	2,050	2,161	2,167	2,136	2,049
補助費等	4,068	3,813	3,376	4,260	4,055	3,680
繰出金	2,264	2,681	2,759	2,919	3,142	3,442
投資的経費	3,774	1,522	2,132	2,304	1,970	2,307
その他経費	4,582	4,166	4,439	3,907	4,312	4,373
歳出合計	24,811	21,832	23,069	24,041	24,670	24,811

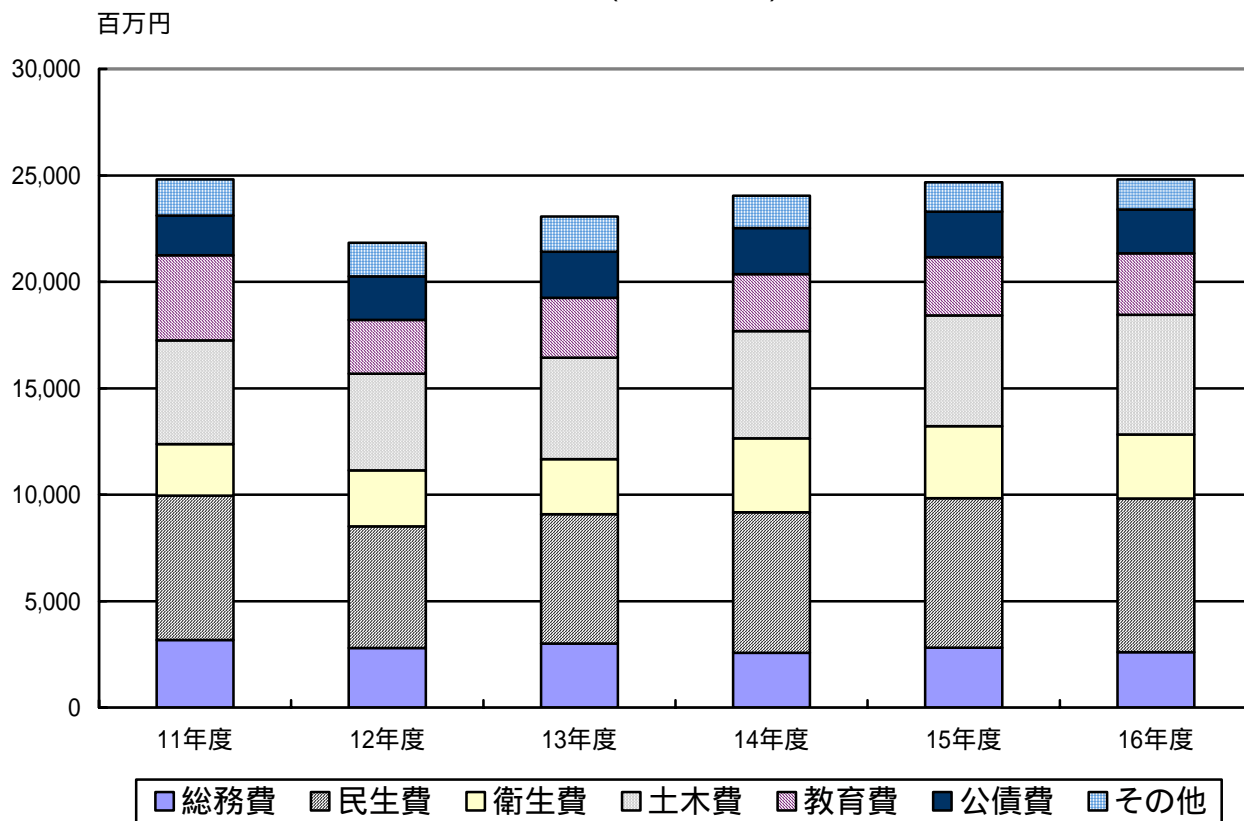


歳出（目的別）

（単位：百万円）

科目	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
総務費	3,175	2,792	3,004	2,570	2,815	2,609
民生費	6,784	5,718	6,083	6,605	7,027	7,214
衛生費	2,414	2,635	2,587	3,466	3,371	3,009
土木費	4,875	4,538	4,766	5,044	5,208	5,612
教育費	4,003	2,525	2,811	2,672	2,732	2,899
公債費	1,866	2,050	2,161	2,167	2,136	2,049
その他	1,694	1,574	1,657	1,517	1,381	1,419
歳出合計	24,811	21,832	23,069	24,041	24,670	24,811

歳出（目的別）



各会計別地方債現在高

(単位：百万円)

区 分	11 年度	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度
普通会計	20,580	19,512	19,025	18,701	19,267	19,994
公共下水道	19,117	20,164	20,749	20,963	21,104	20,876
水道事業	4,134	3,912	3,721	3,475	3,298	3,082
病院事業	942	1,180	4,940	6,267	6,202	8,060
駅前再開発			17	281	571	753
合 計	44,773	44,768	48,452	49,687	50,442	52,765

数値は各年度末残高を表示

会計別地方債現在高

